土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　砂防工事全体計画書作成業務

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　砂防　構造物基礎

ボーリング名	Bor No.3-明飛川	調査位置	広島県安芸郡海田町	北緯	34° 21′ 36.8853″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和3年 1月19日～ 令和3年 1月21日	東経	132° 32′ 57.5012″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 109.30m	角度	180° 上 90° 下 0° / 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	12.00m	地盤勾配	16° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦D1B / エンジン：ヤンマーNFD12 / ポンプ：東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1				粘土質砂		褐	rd2		地表面に木根を混入する 細～中砂の砂を主体とする 径1cm以下の礫を少量混入する 細粒土分を20～40%含有する	
2	107.15	2.15								
3				玉石・礫混じり砂		淡褐灰	rd3		径7cm以下の礫を20～30%混入する L=10～15cmの玉石が混在する 玉石・礫間は粘土質砂状を呈す 砂は中～粗砂を主体とする GL-2.15 、4.15、5.15mの標準貫入試験は玉石に当る	
4										
5										
6	103.30	6.00								
	102.80	6.50		礫混り粘土質砂		暗褐	rd3		砂は中～粗砂を主体とする 径2cm以下の礫を20～30%混入する	
7				花崗岩		淡褐灰			DL級岩盤 風化が著しく進行し土砂状を呈す 造岩鉱物は風化変色している 長石類は白濁化が著しい	
8	101.30	8.00								
9				花崗岩		淡褐灰			DM級岩盤 風化が進行し撹乱すると土砂化する 造岩鉱物は風化変色している GL-10.20m付近より柱状コアで採取するが指圧で崩れる	
10										
	98.70	10.60								
11				花崗岩		淡褐灰 淡灰褐			CL級岩盤 L=4～10cmの岩片～短柱状コアで採取するがハンマー軽打で砕ける 亀裂面に沿って土砂～細礫を挟む 部分的に径3cm以下の棒状コアとなる	1/29 11.40
12	97.30	12.00								
13										
14										
15										
16										
17										

標準貫入試験

深度―N値図（0 10 20 30 40 50 60）

N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
11	1.15	2	4	5	11/300		
	1.45						
50以上	2.15	25	25/60		50/160	160	
	2.31						
50	3.15	6	11	33	50/300	300	
	3.45						
50以上	4.00	6	44/10		50/110	110	
	4.11						
50以上	5.15	11	20	19/80	50/280	280	
	5.43						
35	6.15	11	14	10	35/300		
	6.45						
34	7.15	11	10	13	34/300		
	7.45						
50以上	8.15	22	28/90		50/190	190	
	8.34						
50以上	9.13	50/70			50/70	70	
	9.20						
50以上	10.05	50/80			50/80	80	
	10.13						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				1/19
				1/20
				1/21